



# 国連海洋科学の10年に関する研究会

- ・事例集について
- ・報告事項について 他

日本海洋政策学会  
笹川平和財団海洋政策研究所

# 事例集について

## ○既存事例集

SDGsの達成に向けた取組事例

-各事例0.5～1頁

-端的に内容を把握できる分量

-図や写真による直観的な理解

-民間の取組みを多く掲載

持続可能な開発目標 (SDGs)  
の達成に向けた  
産学官NGO等の取組事例

科学技術・ビジネス・社会イノベーション  
による共通価値の創造

(2030年に向けて:2017年秋版)



## 東京とNYの子供たちとともに、 「海ごみ」問題を学ぶショートムービーを作成



世界有数の大都市であり大量の資源を消費している都市として、東京都は、海ごみ問題についての市民等の関心を高め身近で実施可能な取組を普及啓発していくため、東京とNYの子供達とともに、海ごみ問題を学ぶショートムービーを作成しています。

本ムービーは、東京とNYの小学生が、海ごみ問題を学び、自分たちが地域や社会でゴミを生み出している一員であることを踏まえ、海ごみを減らしていくため意見交換を行った記録です。日本語と英語の字幕があり、海ごみ問題に関するわかりやすい解説もついているため、同じ映像を使って、東京及びニューヨーク双方で、小学校の環境学習などで活用を進めていくことができます。



**Contact Information**  
[http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/resource/general\\_waste/marine\\_litter.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/resource/general_waste/marine_litter.html)  
 e-mail: S000636@section.metro.tokyo.jp



- ・製作：東京都
- ・協力校：江戸川区立平井小学校（東京）  
ニューヨーク市立ブルックリン区第15小学校（NY）
- ・協力NPO：  
特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム（東京）  
非営利団体 カフェテリアカルチャー（NY）
- ・編集・監督：佐竹敦子（カフェテリアカルチャー メディアディレクター）

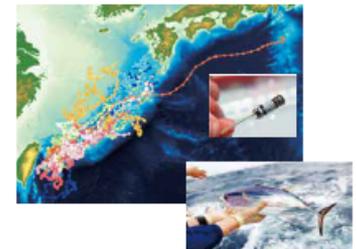
## 日本・太平洋岸のカツオ標識放流調査 (2009-)



味の素（株）と国際水産資源研究所（NRIFS\*）の協力のもと、黒潮に沿う日本の南西部太平洋沿岸でのカツオの移動を調査するために、2009年から実施しています。  
このプロジェクトの目的は、国際的な持続可能な漁業管理と持続可能な地域開発の確立に貢献することです。長期的な社会的目標を目指し基礎研究プロジェクトを担う政府の研究機関と、漁業関連産業に直接関与していない民間メーカーが共同で行う独創的・先駆的なケースであり、日本の全国的なカツオ研究に不可欠な任務を担っています。



バイオリングやバイオテレメリーなどの先進技術を使用することにより、カツオの生態学の驚異的な詳細が明らかになっています。2016年からは、コラボレーションが拡大し、JSTのCREST（北海道大、京都大学、東京大学、東京海洋大学）、台湾の漁業局の研究機関などとも連携しています。



\* 国立研究開発法人 水産研究・教育機関 水産資源研究所

**Contact Information**  
 味の素株式会社 グローバルコミュニケーション部  
 Email: csr\_info@ajinomoto.com  
<http://www.ajinomoto.com/en/activity>

# 事例集について

- 有識者等への依頼(2020年10月)  
(御協力を有難うございました)

## 事例集への御協力について

国連海洋科学の10年に関する研究会・キックオフ会合(8月30日)を受けて作成することになりました、国連海洋科学の10年への日本の貢献に関する事例集への御協力について、検討を御願い出来ないでしょうか。国際的に発信すべき日本が関連する取組み(1~2例程度)を、下記のフォームに記入のうえ10月30日(金)までに角田([t-tsunoda@spf.or.jp](mailto:t-tsunoda@spf.or.jp)宛)に返信を頂くことが出来ましたら大変に幸いです。

公開情報(あるいは、公開可能な情報)をベースとし、「名称」と「期間」、「分野」「機関」(必須項目)に加えて、「概要」あるいは「URL」「参考資料」を記入ください(次ページの記載例を参照ください)。お忙しいところ恐れ入りますが、ご検討のほど宜しく御願い申し上げます。

### ◆事例1

|               |   |
|---------------|---|
| 名称            |   |
| 期間            |   |
| 機関            |   |
| 分野<br>(社会的成果) | <input type="checkbox"/> きれいな海、 <input type="checkbox"/> 健全で回復力のある海、 <input type="checkbox"/> 持続的に生産的な海、<br><input type="checkbox"/> 予測できる海、 <input type="checkbox"/> 安全な海、 <input type="checkbox"/> 万人が利用できる海、 <input type="checkbox"/> 魅力的な海。 |
| 概要            |   |
| 参考URL         |   |
| 参考資料、<br>図面等  |   |

※分野は該当するものにチェック(☑)を入れて下さい(複数可能です)。

## 事例集について

### ○事例について

- 合わせて50件程度(別紙参照)  
民間事例も含めて多様な分野を網羅
- 日本ユネスコ国内委員会のリストも

### ○当面について

- 追加提案の受付(11月20日まで)
  - 分野別の整理、不足分野の追加検討
  - 類似事例の統合、コラム枠活用など検討
- ↓
- 業務委託のもとで作成着手

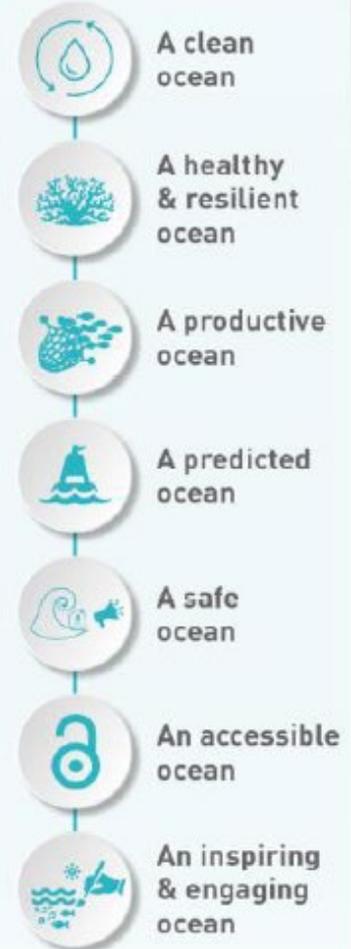
### ○公開について

- 第2回研究会にて中間報告のうえ、  
年度内の作成・公開を目指す。
- 作成し次第に英語版に着手し、  
5月末にベルリン開催予定のキックオフ会合  
での配布を目指す。

※本研究会の協力のもと日本海洋政策学会と笹川平和財団  
海洋政策研究所の両者で作成という体裁をとる。

## DECADE OUTCOMES

### "THE OCEAN WE WANT"



# 報告事項

## ○ウェブサイトについて

日本での取組みの情報共有を行うことを目的に、そのプラットフォームとして、海洋科学10年のウェブサイトをも日本海洋政策学会のウェブサイト内に構築（日本海洋政策学会と笹川平和財団海洋政策研究所の2者で作成）

ウェブサイトへのリンク作成